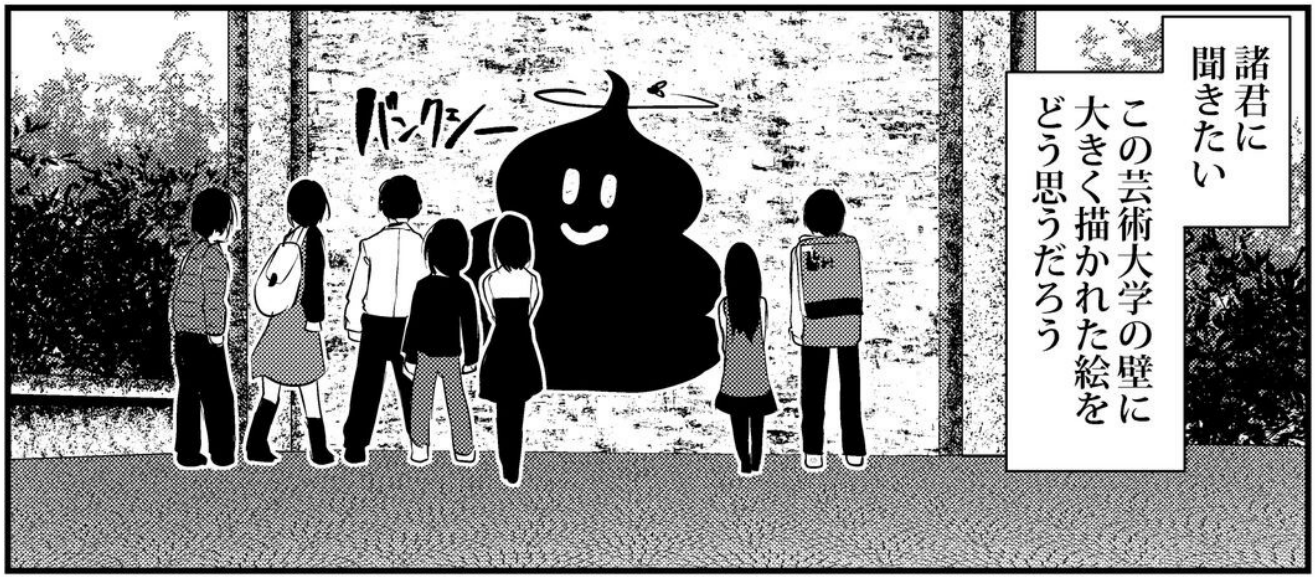
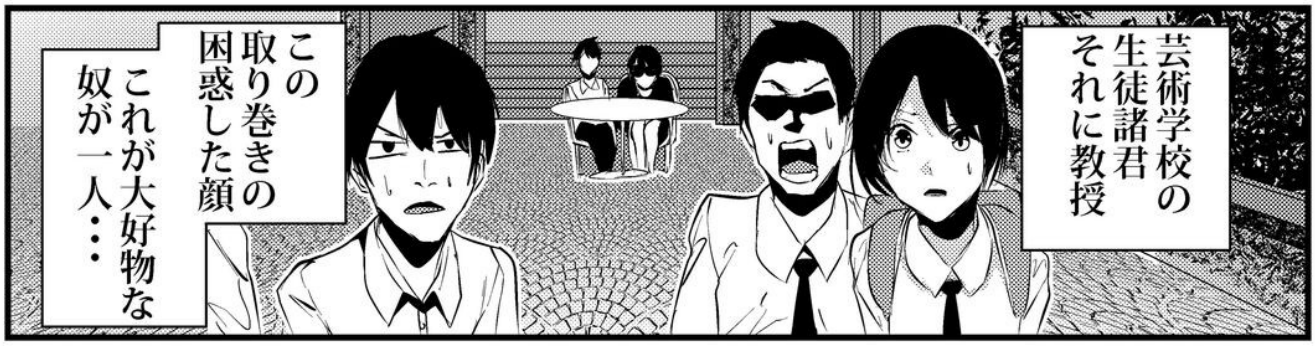

いたずら仲間の
悪友に告白したら
デレデレになった
SPRAY PAINT




いたずら仲間の
悪友に告白したら
デレデレになった




諸君に
聞きたい
この芸術大学の壁に
大きく描かれた絵を
どう思うだろう
バンクシー

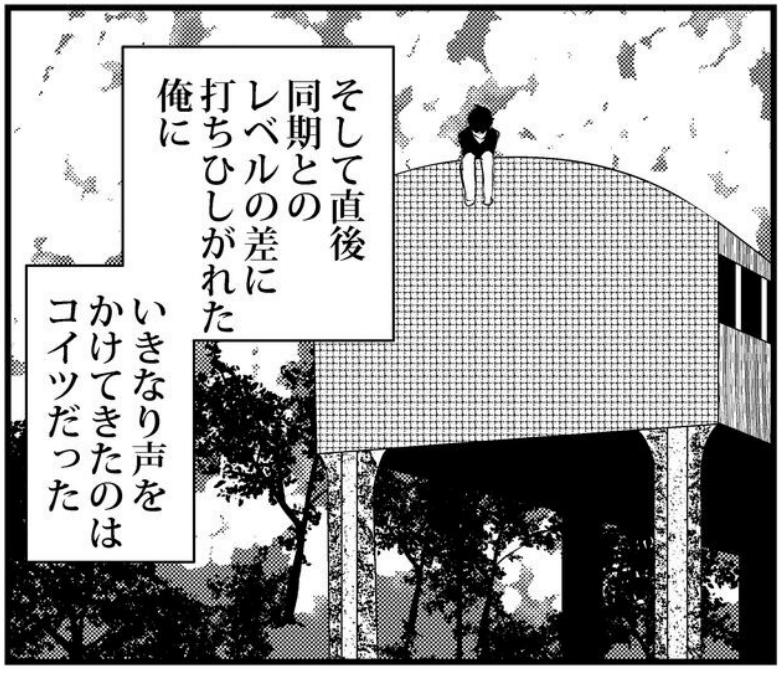

芸術学校の
生徒諸君
それに教授
この
取り巻きの
困惑した顔
これが大好物な
奴が一人・・・


コイツだ


これを消すか
消さないか
それがこの
芸術大学の
真価が問われる
ポイントなんだよ
この邪悪な
悪戯小僧のような
笑みを浮かべる人物


コイツは
俺の「悪友」だ
言わずもがな
絵は俺と
コイツで描いた
悪戯コンビ
というわけだ


コイツとの
出会いを
簡単に説明しよう
期待に
胸膨らませた
入学当初


そして直後
同期との
レベルの差に
打ちひしがれた
俺に
いきなり声を
かけてきたのは
コイツだった


お前
良い顔を
してるなぁ・・・
おおかた
自分の実力の無さに
自暴自棄に
なってる顔だ
まったく
初対面から
失礼な奴だった

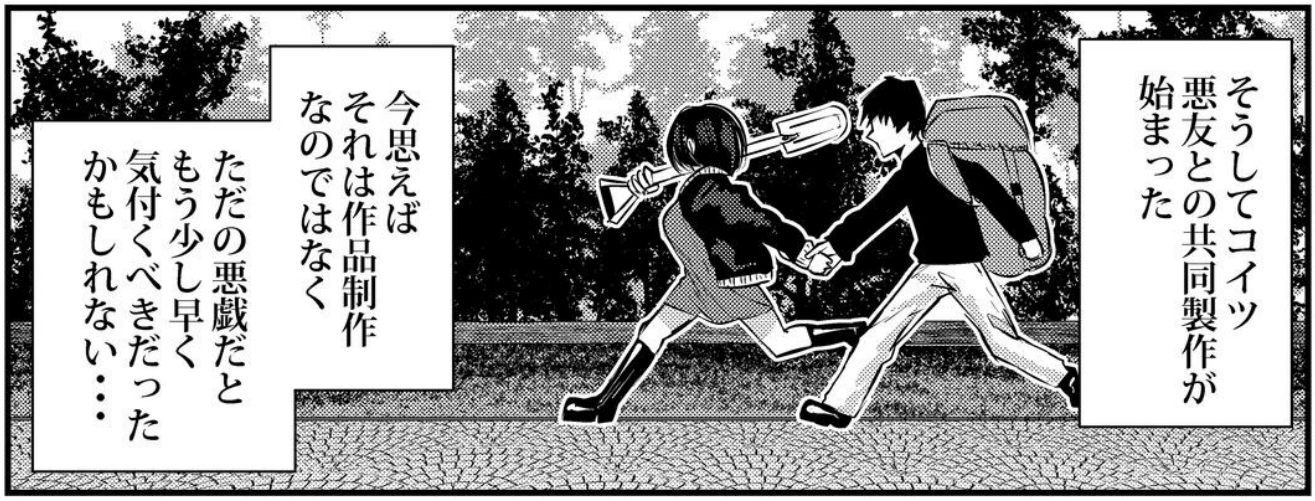

ここからなら
よく見えるな
ルネサンス期から
続く芸術の神秘性に
包まれて
この
ぬくぬとした
芸術学という
空気感の中にいれば
自分も
特別な人間なんだと
安心している
愚かな学生が何人も・・・


絵がうまく描ける？
センスなんて
曖昧なものが
特出している？
そんなもの
世界中の芸術学生が
普遍的に持っている
そこに
アイデンティティを
誇っているなんて
矮小な価値観だと
思わねぇか？


お前
俺と組まねぇか？


その言葉は
その時の
俺にとっては
耳に心地がいい
物だった

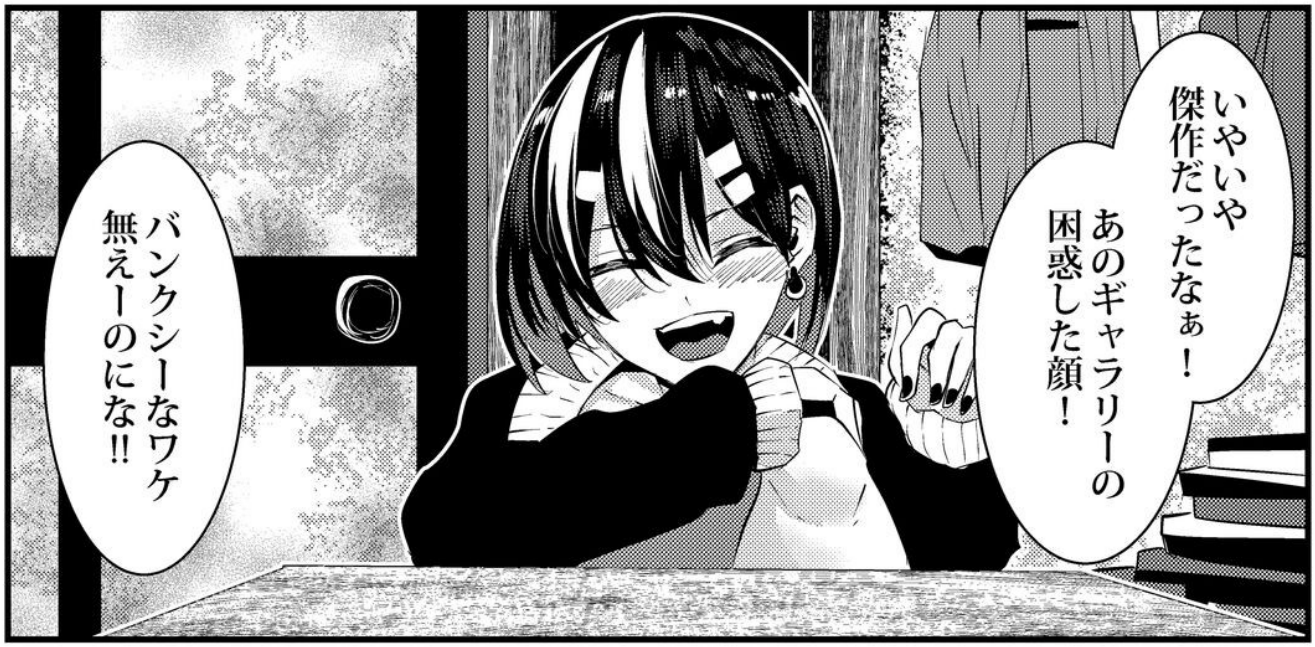

勘違いしている
美手帳被れの
生徒たちに
本当の芸術を
見せ付けてやるんだ


そうしてコイツ
悪友との共同製作が
始まった
今思えば
それは作品制作
なのではなく
ただの悪戯だと
もう少し早く
気付くべきだった
かもしれない・・・


例えば
大学敷地内の
偉人の銅板彫刻に
メイド服を
着せたり


芝生を掘り起こして
巨人が歩いた痕跡
のようなものを
施工したりした


それらはすべて
この悪友の企画で
命令であり
それを実行するのは
専ら俺の役目だった
迷惑行為ギリギリの
芸術行為
それを
芸大関係者に
否定させる事で
芸術という
学問の薄っぺらさを
露呈させるというのが
悪友の持論だった


いやいや
傑作だったなぁ！
あのギャラリーの
困惑した顔！
バンクシーなワケ
無えーのにな!!

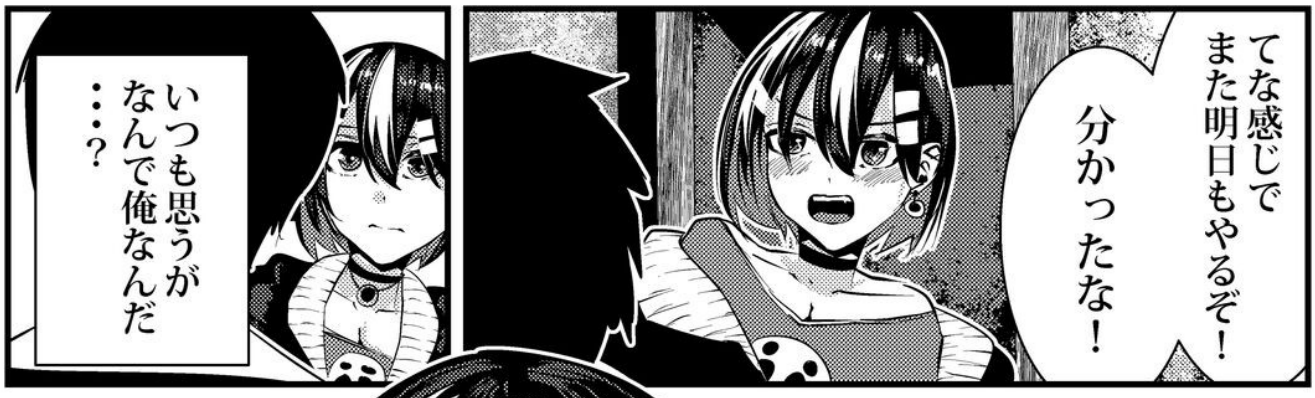

ここは
俺のボロアパートだ
俺と悪友はこうして
作戦会議をするのが
日課になっていた


あの大学は
真面目ちゃんが
多すぎんだよなぁ
だから
からかい甲斐が
あるってかさ


それでだ
次の企画を
考えた


これだ！
何故か
悪友は企画書
というものを
本気で描かない
でんせつの
バット
このバットは
あの何て
名前だっけな
三年の野球部で
エースがいるだろ？
アイツの愛用の
バットだ
芸術学生のくせに
スポーツもできて
後輩にモテモテ
何人も
お持ち帰りして
プレイボールしてる
いけ好かない奴だ
でんせつの
バット
それをこうして
コンクリの台座に
埋めて
伝説の剣みたいに
抜けなくする
面白いだろ？
出た
悪友特有の
邪悪スマイル
材料はもう
搬入済みだから
あとは
野球部室の
鍵を壊す方法を…
めきっ

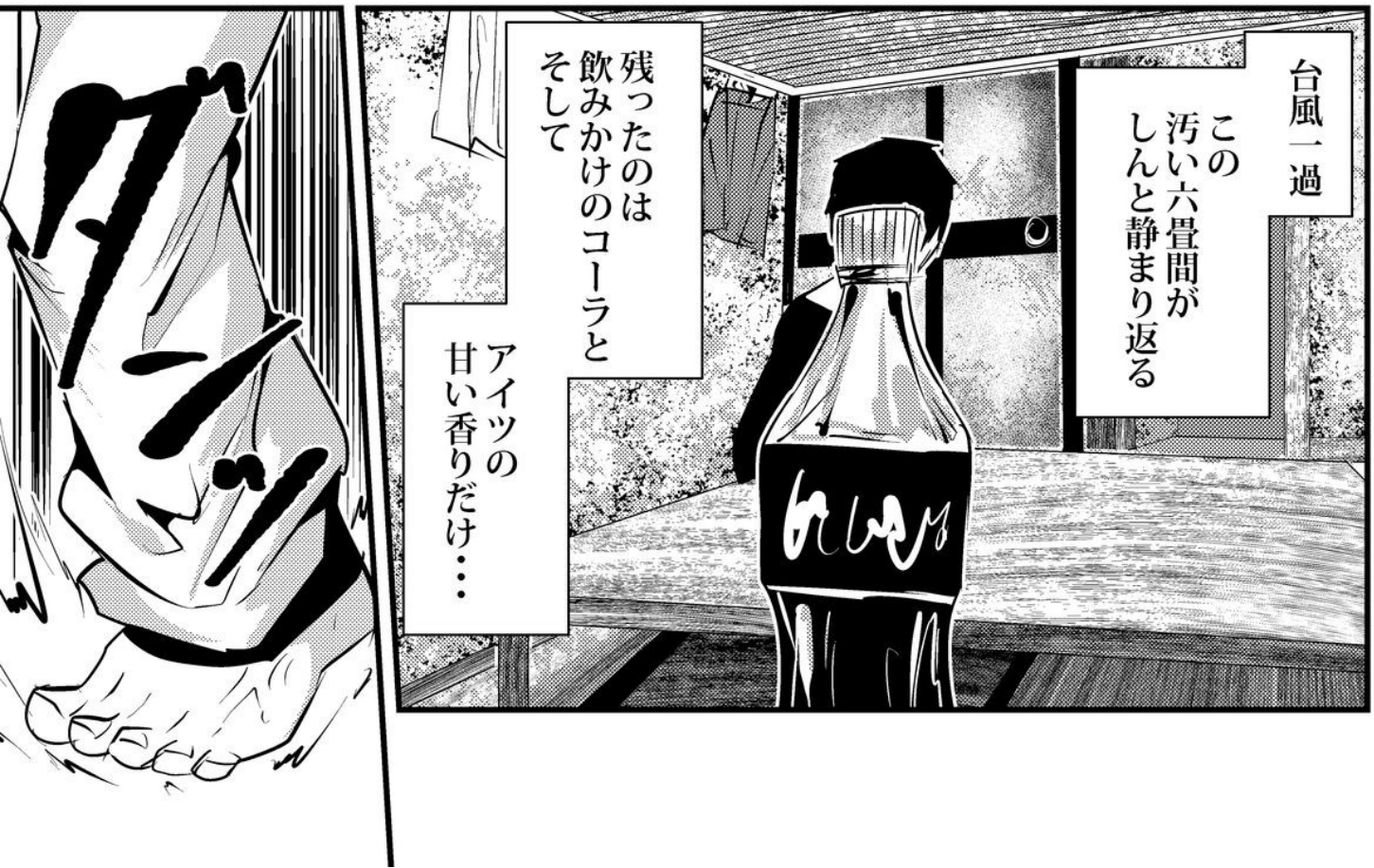

明日までに
考える！
おい
それは俺の
コーラだぞ
もう俺のだ


てな感じで
また明日もやるぞ！
分かったな！
いつも思うが
なんで俺なんだ
…？


ふふふ
お前しかいない
なんたって
俺とお前は
悪友だからな
退学するのも
地獄に落ちるのも
一緒だからな♪


よし！
んじゃ
また明日！
ビビッて
トンズラ
すんなよ！




台風一過
この
汚い六畳間が
しんと静まり返る
残ったのは
飲みかけのコーラと
そして
アイツの
甘い香りだけ・・・

正直
たまんねーよ!!!

俺は…
アイツの事が
好きだ…
異性として

身を
焦がすほど

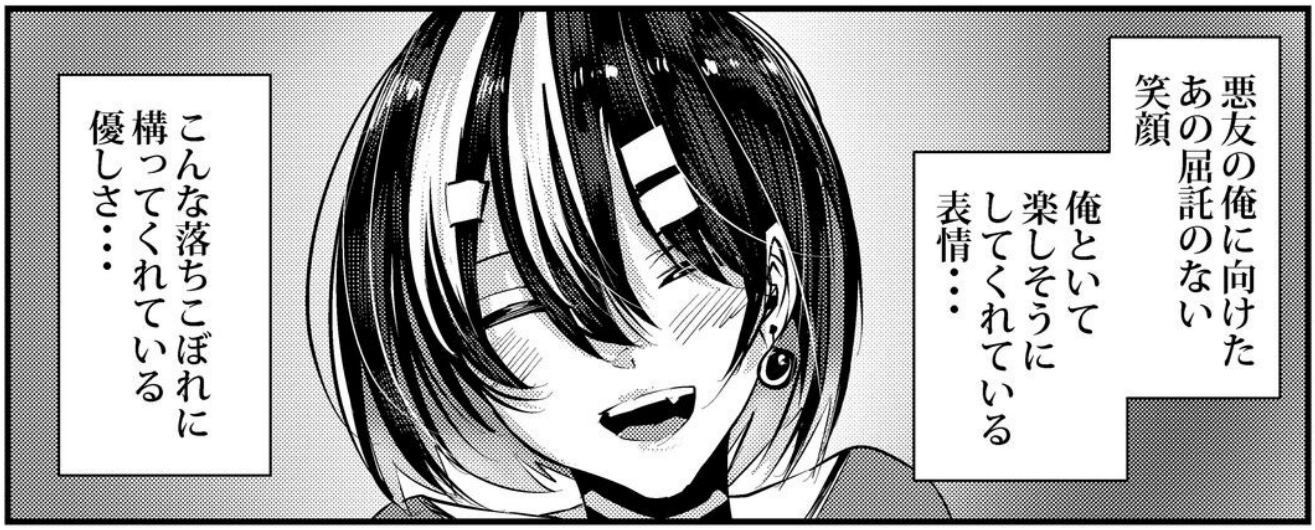
アイツがまた
新しい企画を
持ってくることに
毎回ワクワクする

無防備に
顔を近づけられると
心臓が跳ね上がる

だって…

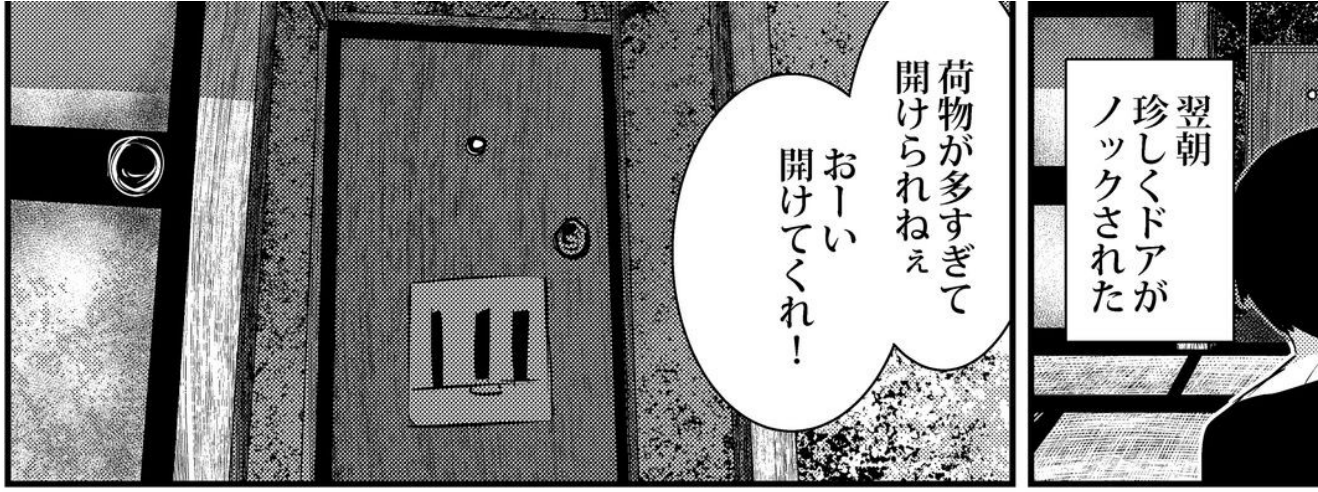
あんなに
可愛いんだから

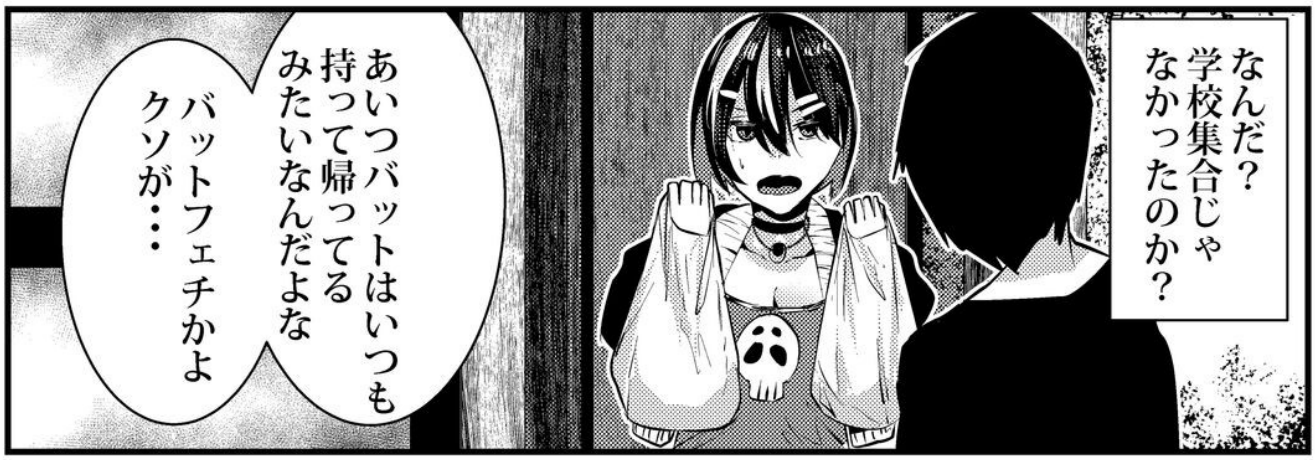

あんなに
可愛い子が
俺に構ってくれている
唯一の悪友だと
言ってくれている
毎日俺の
アパートに来て
無防備な姿で
楽しそうに
話してくれる

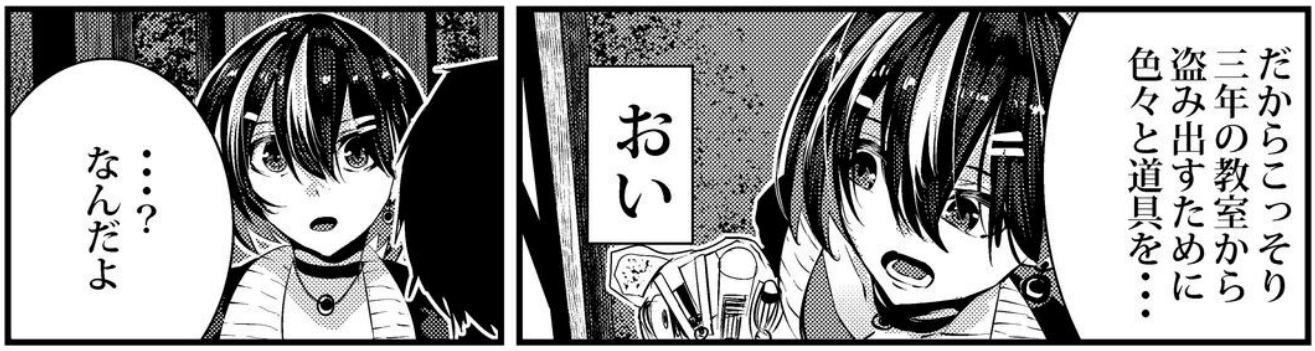

悪友の俺に向けた
あの屈託のない
笑顔
俺といて
楽しそうに
してくれている
表情・・・
こんな落ちこぼれに
構ってくれている
優しさ・・・

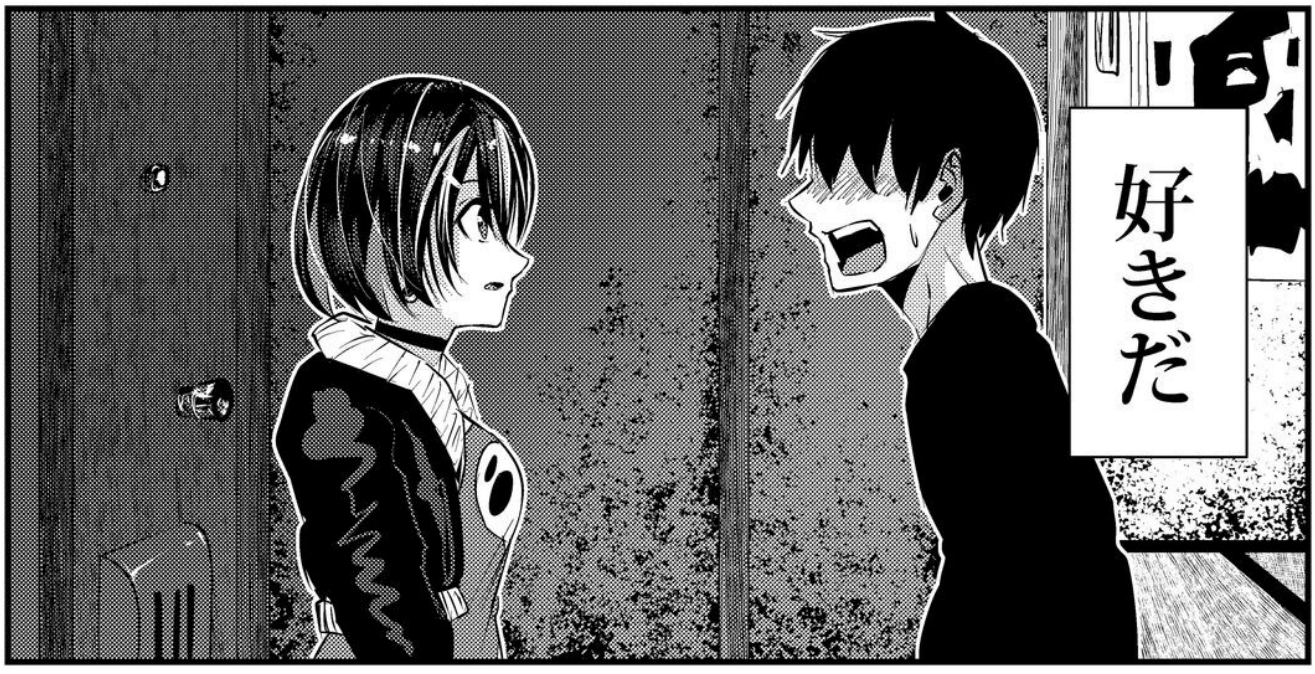

これで
好きにならない
方がおかしい
ベリ
ベリ


だから
俺は決めたんだ
明日アイツが来たら
告白しよう
玉砕しても
この気持ちを
そのままに
しておけない
だから・・・


翌朝
珍しくドアが
ノックされた
荷物が多すぎて
開けられねぇ
おーい
開けてくれ！


なんだ？
学校集合じゃ
なかったのか？
あいつバットはいつも
持って帰ってる
みたいなんだよな
バットフェチかよ
クソが・・・


だからこっそり
三年の教室から
盗み出すために
色々と道具を・・・
おい
・・・？
なんだよ


好きだ

あー…

ああ！
俺もお前の事が
好きだぜ！

なんたって
俺とお前は
悪友…

そうじゃなくて

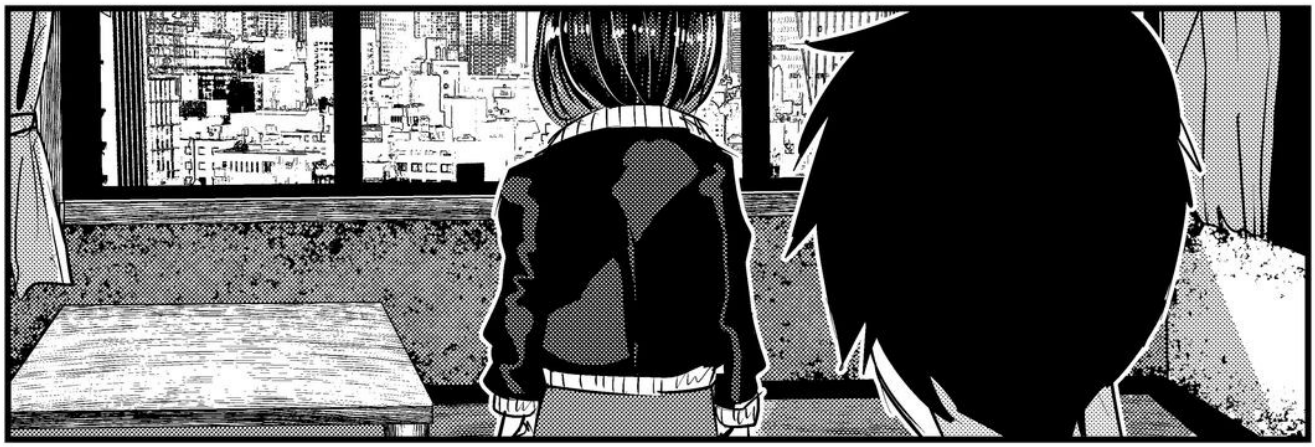
お前の事が
好きなんだ!!
異性として!!

え…
あ…






そ…
そうか…

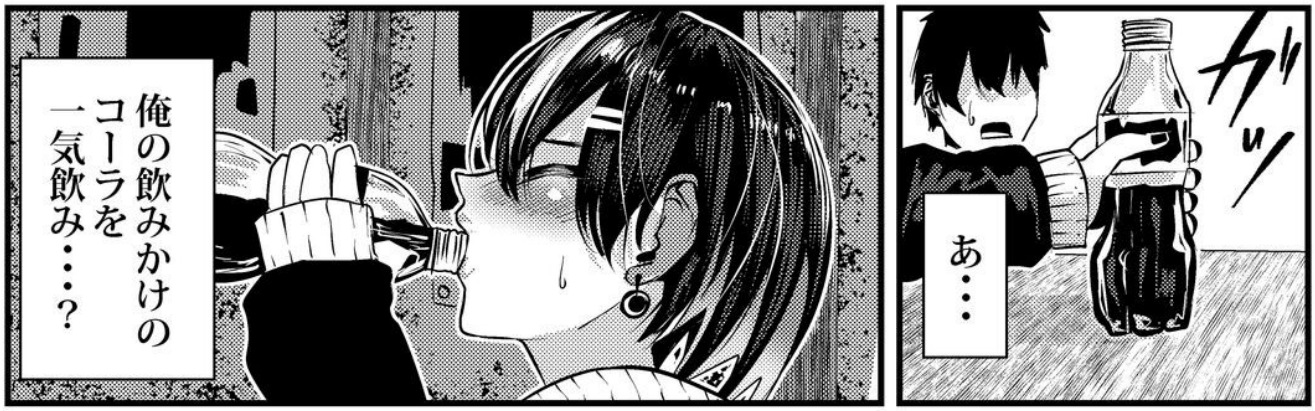


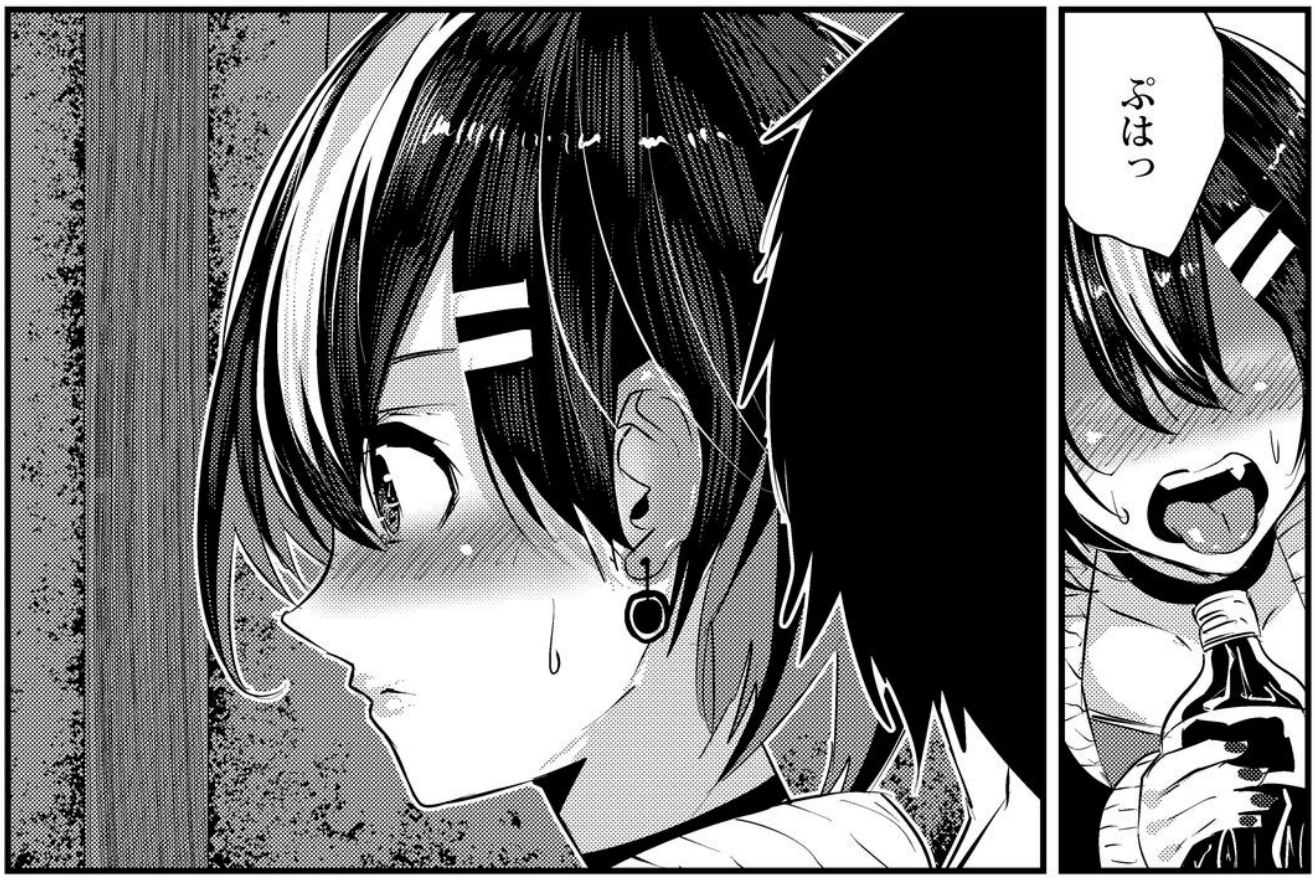



返事は無しか
…




ん？
なんでこいつは
隣に座ってるんだ
・・・？


あ・・・
俺の飲みかけの
コーラを
一気飲み・・・？


ぷはっ

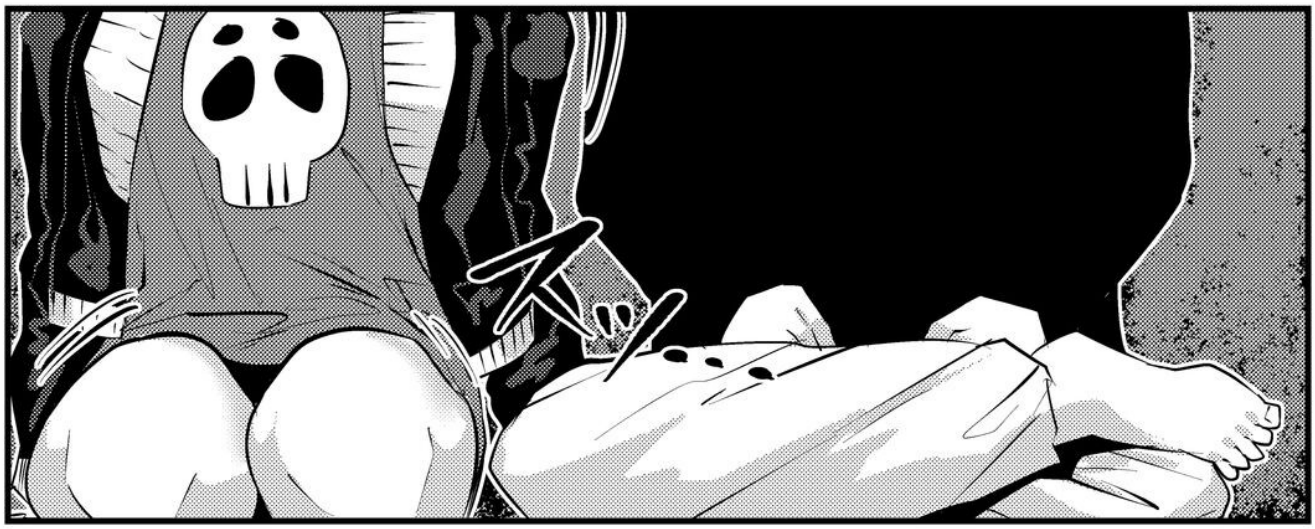

…
なんで俺なんだ…？
お前の事こき使ったりしたし…
お前といるのが楽しかった


お前
俺のせいで単位落したし…
そんなもん安いもんだ


す…すきって…その…
手を繋いだりしたいとか…？
したい!!!


き…
キスとか…
したい
したい!!!


そ…
そうか…




き…
キス…
してみるか…？
俺と…
…え？
わっ…



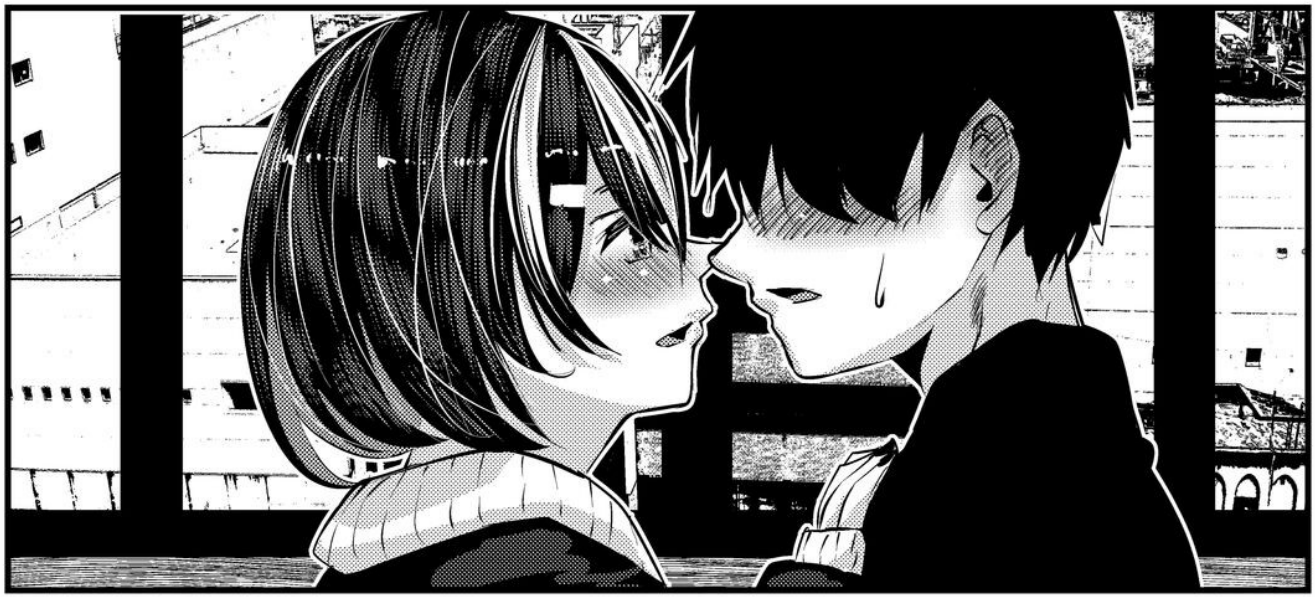





トロ…


キス…
しちまった
悪友と…
なぁ…


も…
もう一回…
しようぜ
!?

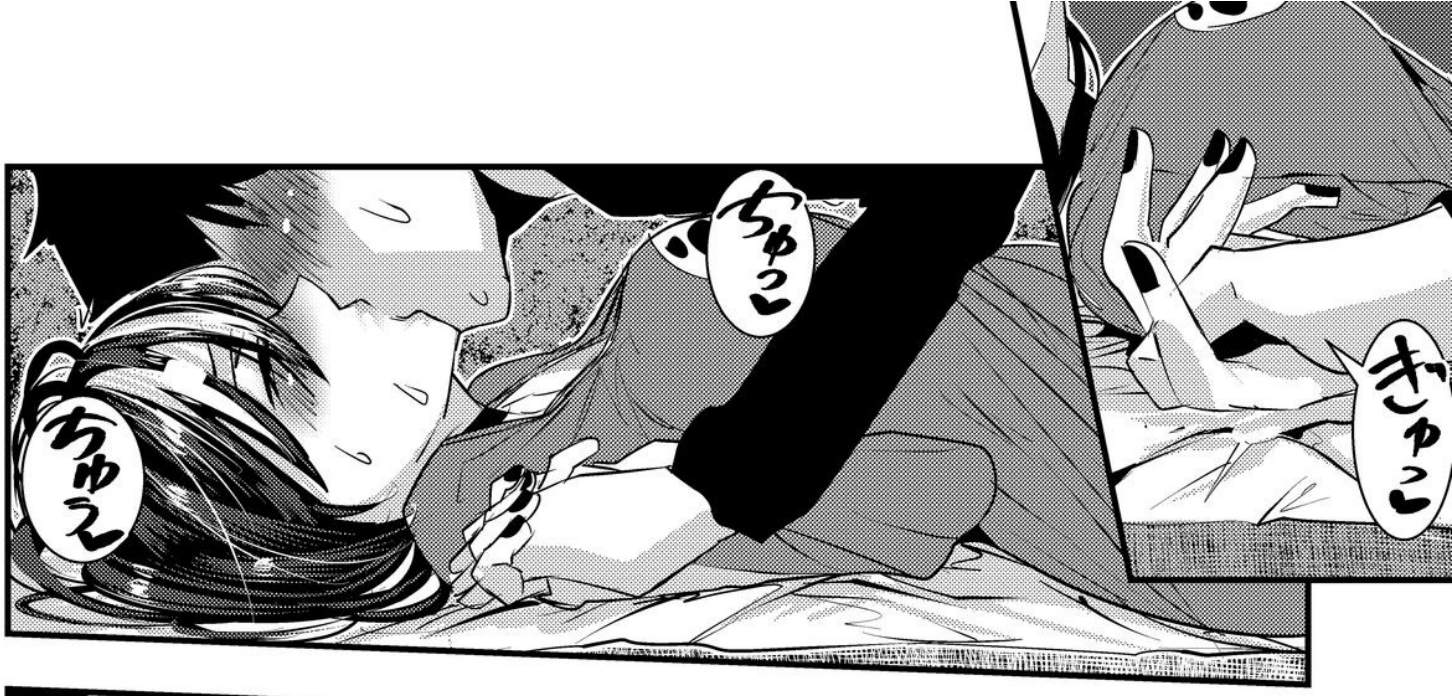


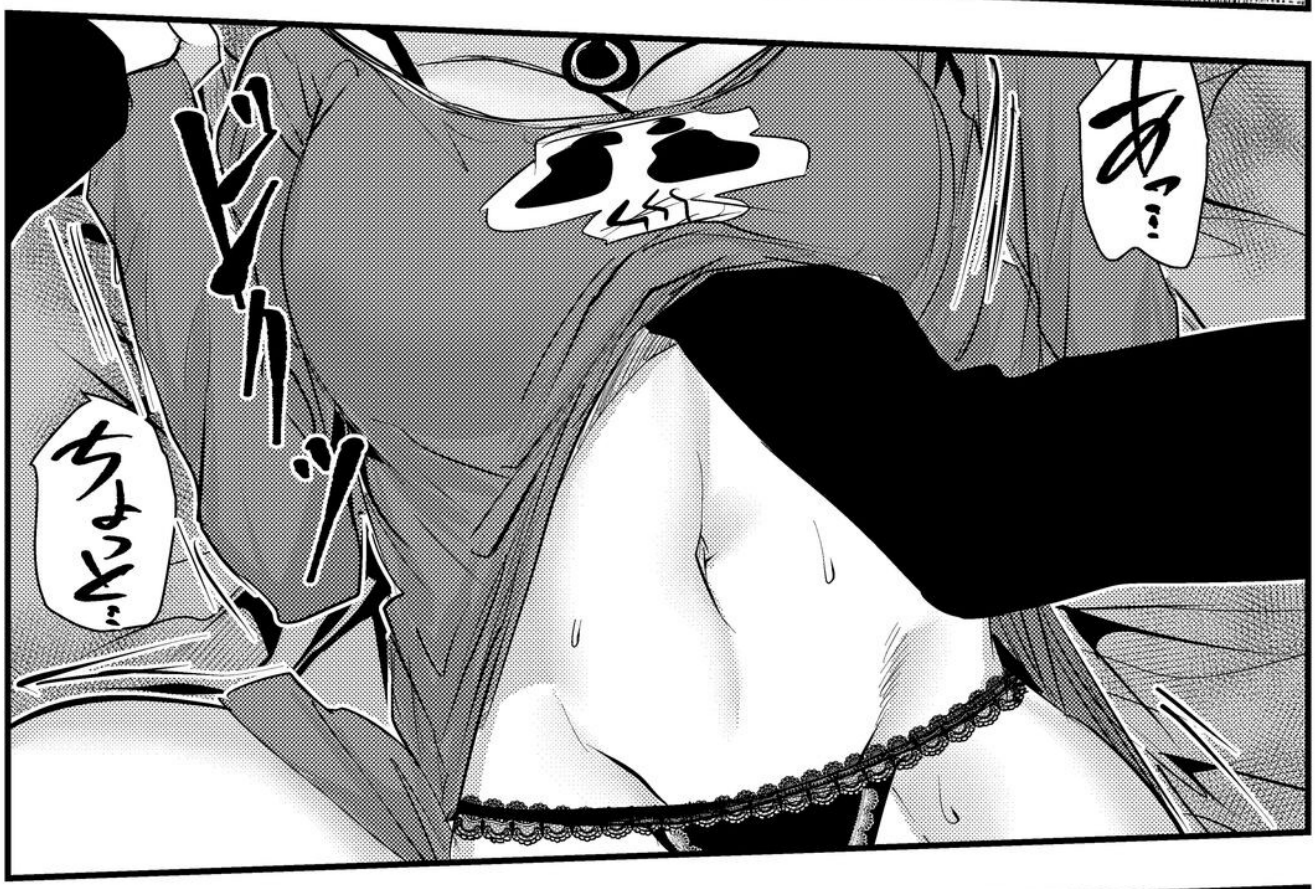



はむっ
ちゅ
ちゅぎっ


ちゅ♡
ちゅっ
ちゅう♡
はっ
はぁっ
はぁ♡
はぁ
はっ♡


なんか…
変だな…
お前と
こんな事
するなんて…
でもなんか…
めちゃくちゃ
ヤバい…っ
…っ!!


きゅっ
ちゅっ
ちゅう


あっ…
ドクッ
ちょっと…


上…
脱ぐから
ちょっと
待っててくれ


どう・・・だ？
誰にも
見せたこと
無くて・・・
最高だ!!!
んっ

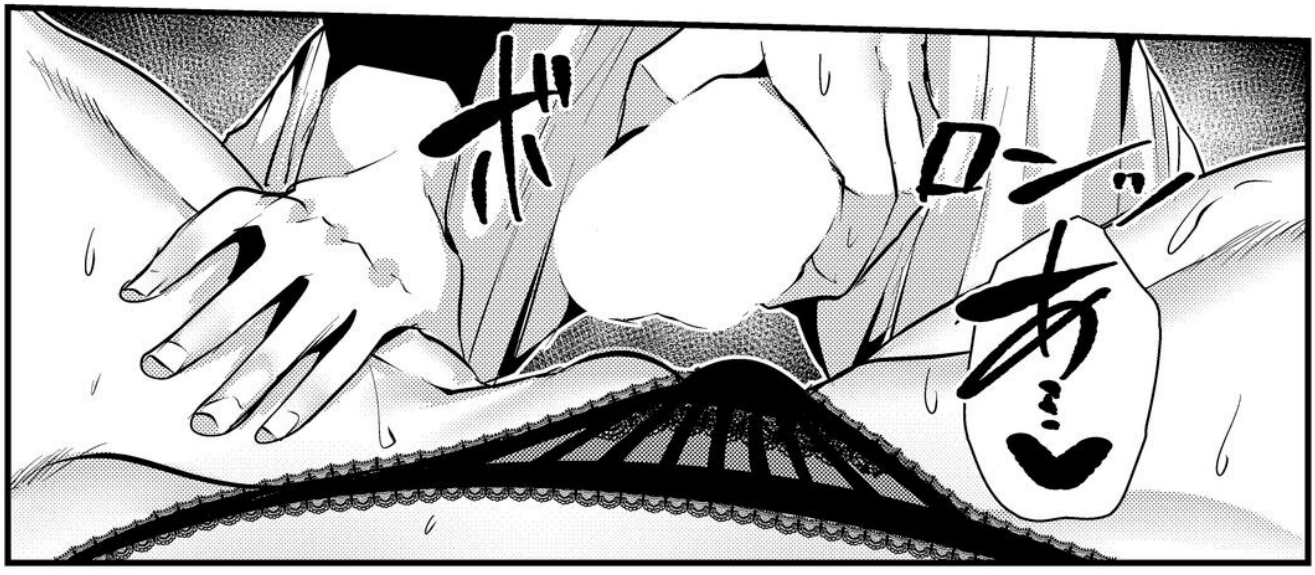

んっ♥
んふっ♥
んふぅっ♥
ふうぅぅ♥
ちょっと
まて・・・
ブラ
外すから・・・




サラッ
すごく綺麗だ…
…っ
あっ
あっあっ


あっ♥
ちゅっ
赤ちゃんみたいだなお前・・・
あぁっ♥
ちゅっ
まだ吸っても何もでないぞ・・・っ
ちゅっ
ちゅっ
んっ♥
あ♥
あぁっ♥


はあっ♥
はっ♥
はあっ♥
トロ…♥


ボ
ロン
あっ♥


ほ…
ホントに
するのか…？
イヤか？
いや…
俺とお前は
悪友で…
一緒に
遊んだり
してて
仲良くなって
それで…
男女の仲にも
友情ってモンが
あるって
思ってたけど…
…っ
あっ♥
はいって♥
つぷぷぷ…♥


あぁっ
いやぁっ
はぁっ
はぁっ

悪友と…
セックス
しちまった…

流れだった
とはいえ

悪友は
嫌がって
イヤじゃ
無かったか…？



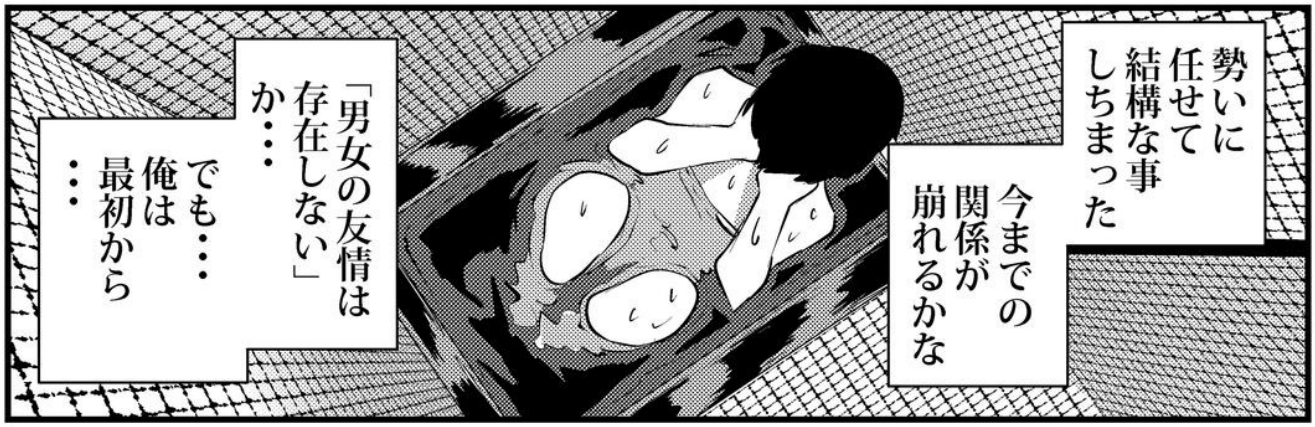



あぁ♥
ぎゅ
はぅ♥
グッグッ
フー…
ちゅ
ちゅぅ♥
ちゅ
ずるるっ


ああっ
はげしっ
ズッ
ズッ
だめぇ
いやっ


は…
激しすぎるぞ
…っ
もっと
ゆっくり
…
あ～
すまん
お前が
可愛すぎて
止められ
ないんだ
…っ
ズッ
ズッ
ズッ


あぁ♥
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビュルルッ
ビュルルッ
ビュルルッ
はぁ♥
ちゅ♥
ちゅう♥
ピュル♥
ピュ♥

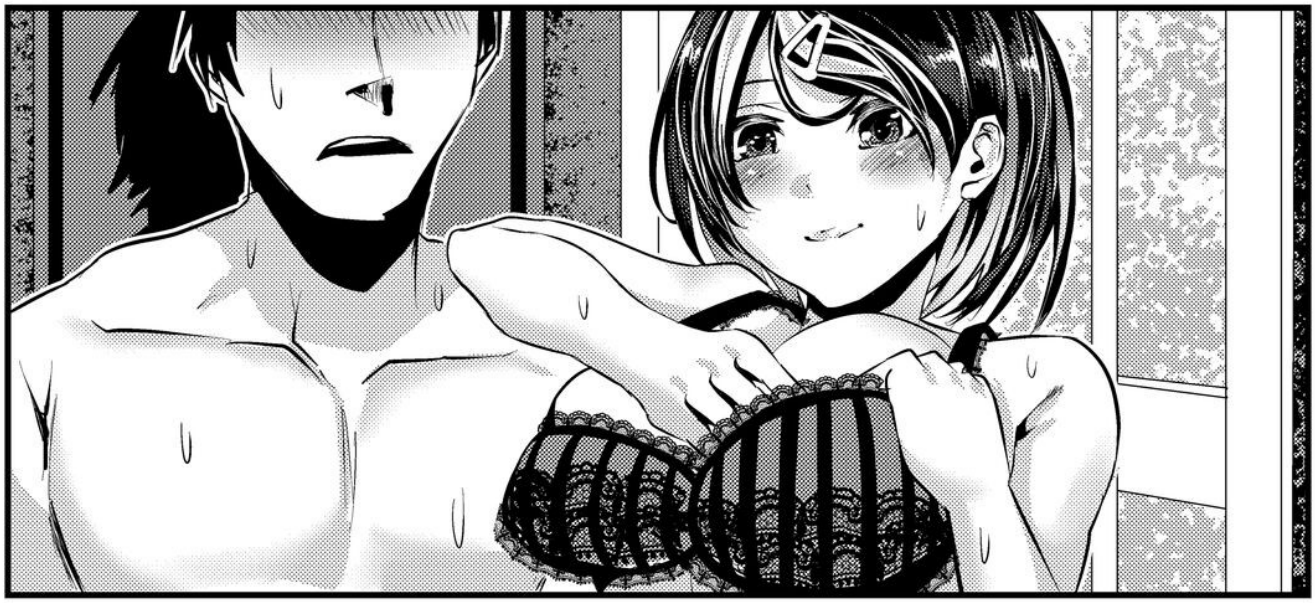

勢いに任せて結構な事しちまった
今までの関係が崩れるかな
「男女の友情は存在しない」か…
でも…俺は最初から…

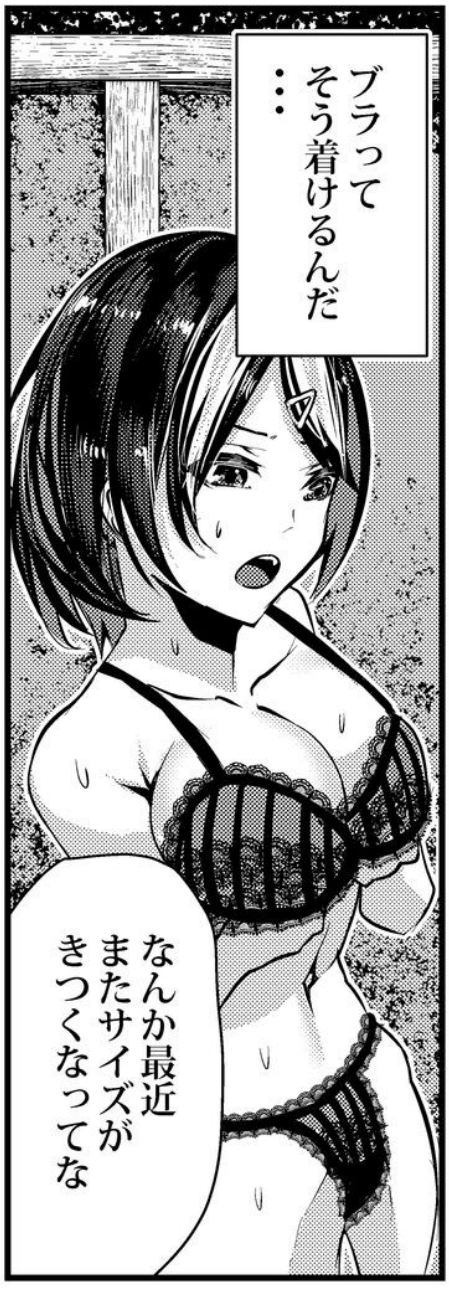

おい
…なんだ？
一緒に入っても良いか？
!!?
洗うとこ同じだし別に良いだろ？


二人で入ると
流石に狭いな
半身浴に
なっちまう
一緒に入るのは
良いが・・・
た・・・
谷間が・・・!!!
ぐっぐっ

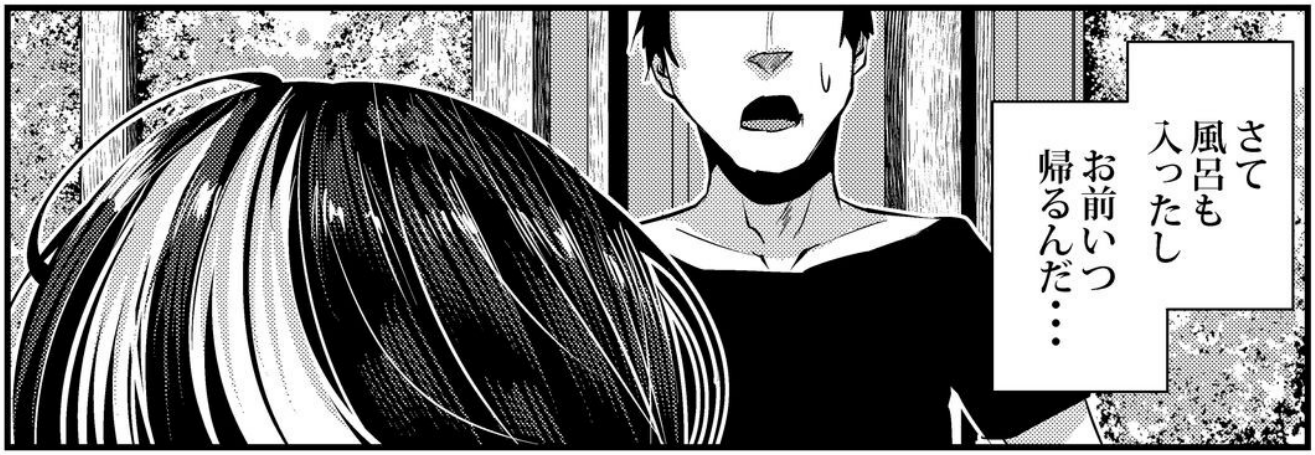

なんだよ
タオル
巻いてるのに
いやこれは
生理現象で
…
またシたく
なったのか？
もう…
仕方ねぇな
…
!!
自分から
…!?


んっ♥
りんっ♥
ズッ
ズッ
っっ♥
ん♥
ズッ
ズッ
あ♥
あ♥
あ♥
ビュルルッ♥

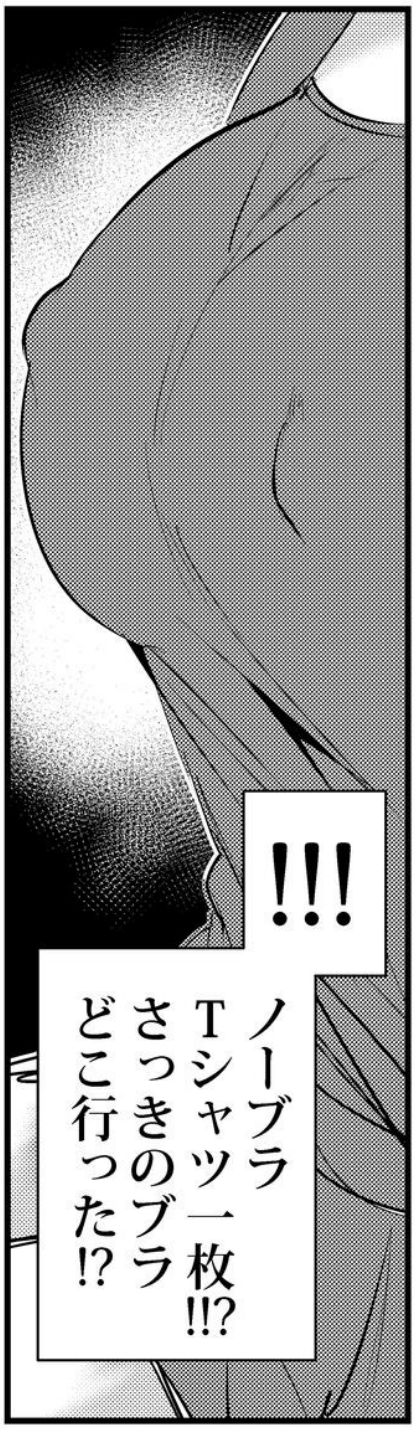


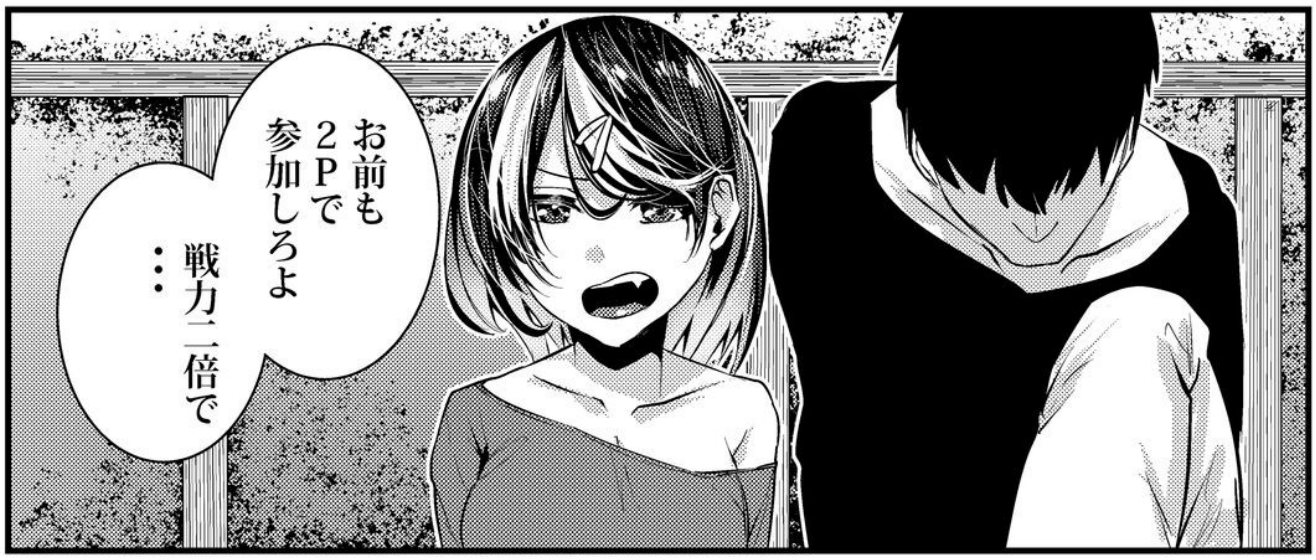

ブラって
そう着けるんだ
…
なんか最近
またサイズが
きつくなってな


もしかして
今のでも
ムラッとしたか？
黙秘権を
主張する！

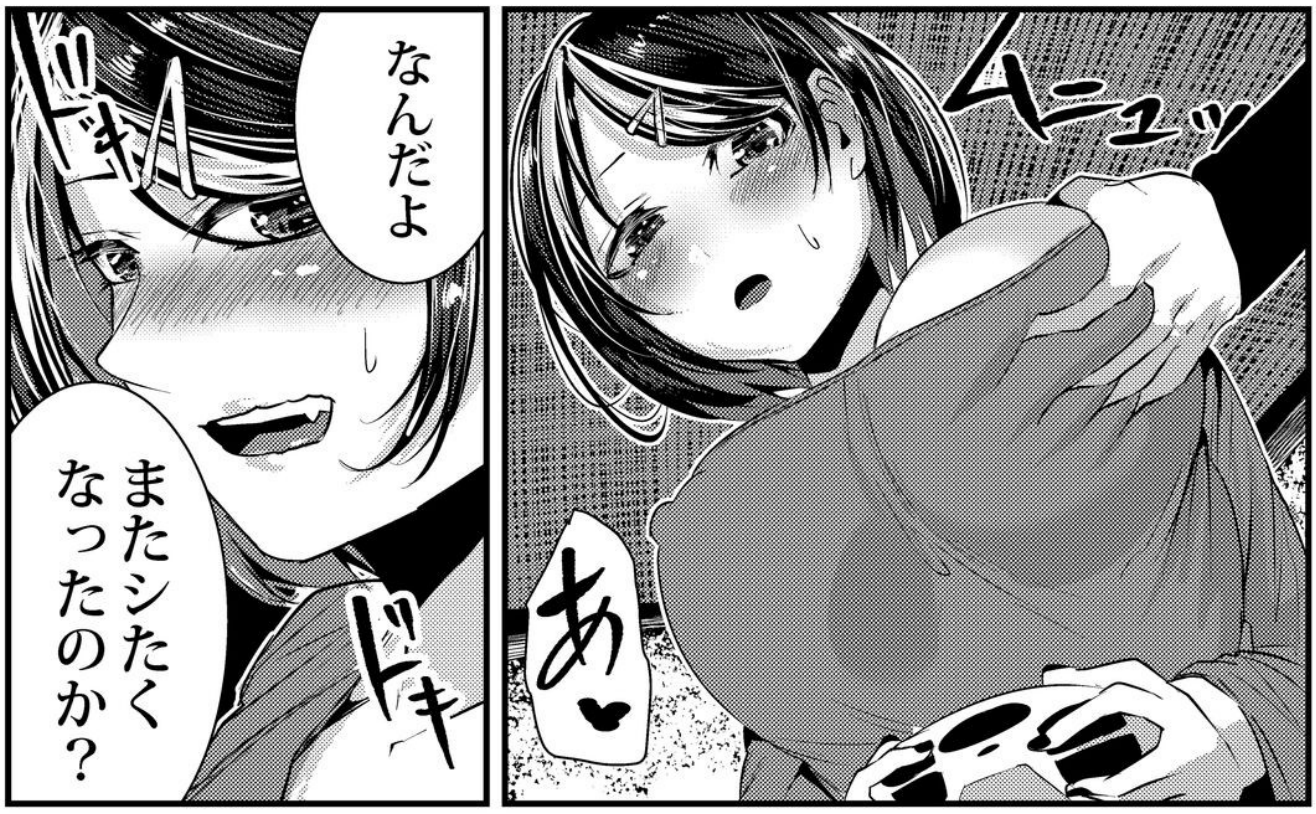

さて
風呂も
入ったし
お前いつ
帰るんだ・・・


・・・って
何してんだ？
ゲーム
いっつも
このボスで
手こずるん
だよな・・・


!!!
ノーブラ
Tシャツ一枚!!?
さっきのブラ
どこ行った!?


お前も
2Pで
参加しろよ
戦力二倍で
・・・


・・・


ムニュッ
あ♥
ドキ
なんだよ
またシたくなったのか？




昼はお前に
責められっぱなし
だったから
今回は…


はっ
あっ
ぬるっ

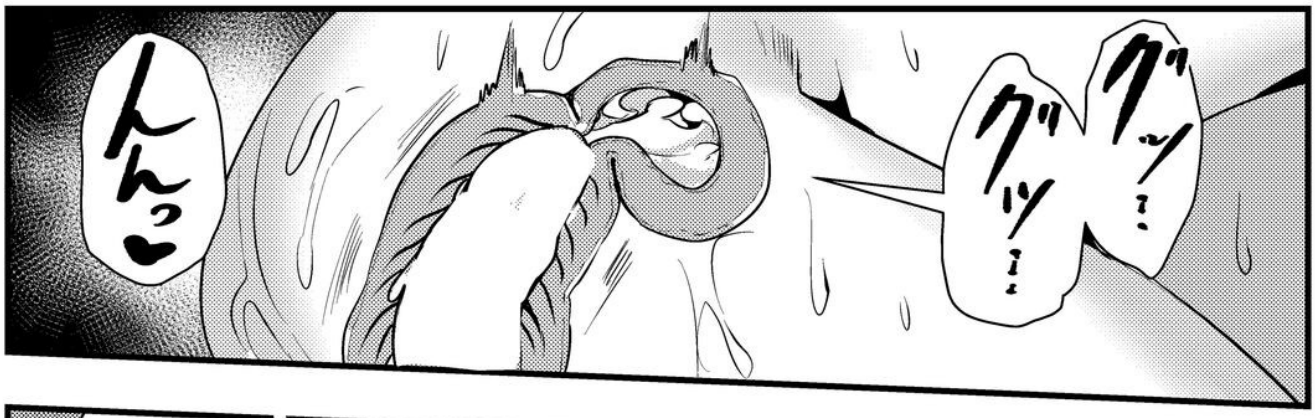

ああっ
ビクッ
んっ
ちゅ
ちゅっ
ちゅ
すりすり
コリコリ


ちょっと
待った…！
激しすぎて…
もう限界…っ

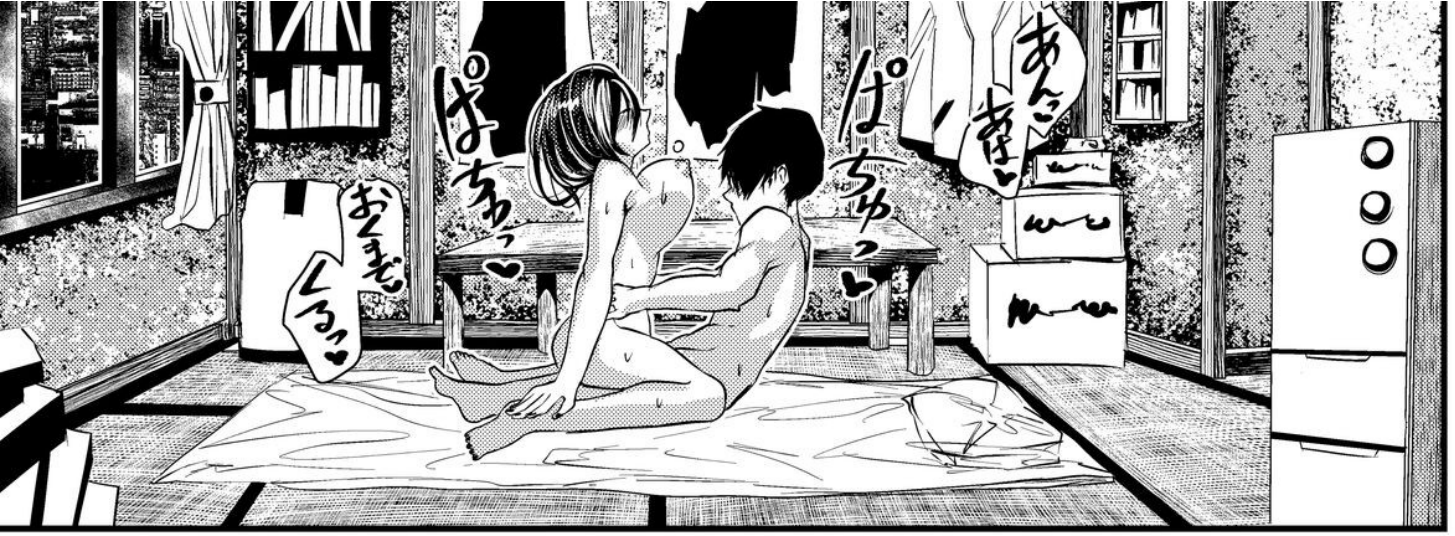

悪友！
射精せ！
射精せ！
全部…
膣内で…
射精せ!!



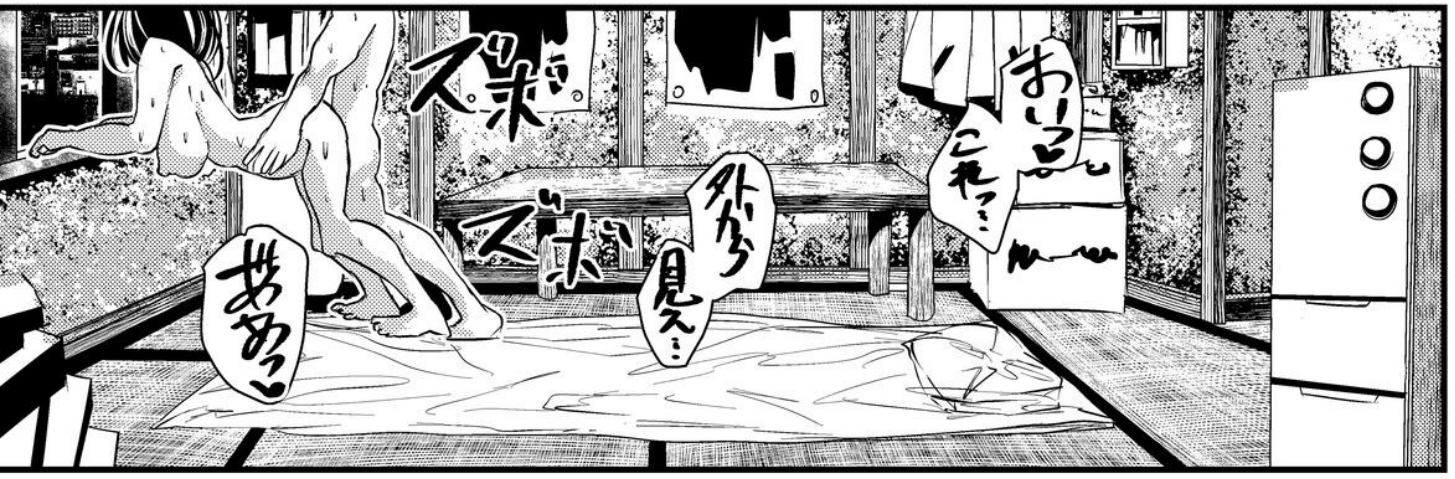

ちゅ
ピュルッ
ピュッ
ちゅ
ちゅ
ちゅ


グッ
グッ
んんっ


お前・・・
こんだけ
出しといて
この
絶倫悪友！
良いぜ
好きなだけ
付き合って
やるよ・・・
俺もお前の事
連れまわして
たからな・・・っ

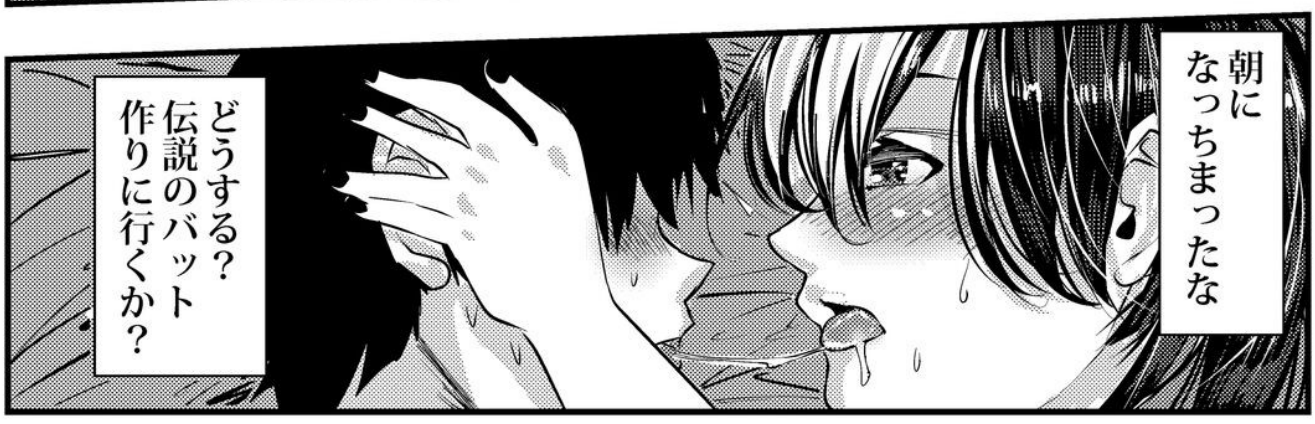

あんっ
ぱちゅっ
ぱちゅっ
おくまでくるっ♡


ズン
ズリ
ズン
おっ♡
お尻っ♡
こんなっ♡
ズン


おっ♡
これっ♡
ズボ
外から♡
見えっ♡
ああっ♡

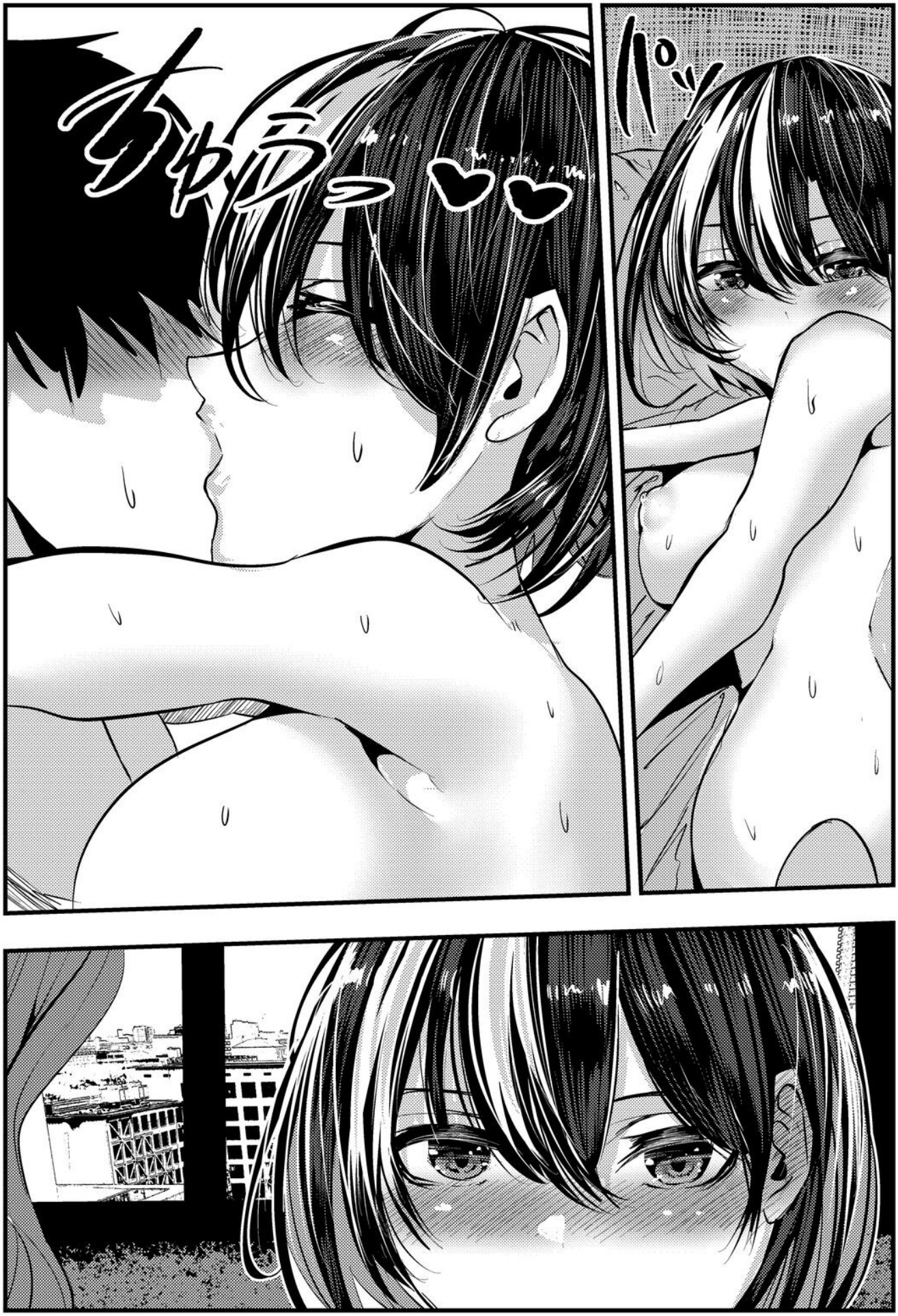

ビュルルッ
ああっ♡
もうやめっ♡
ビュルルルッ
げんかいっ♡
お前…♡
ビュッ
やばすぎ♡

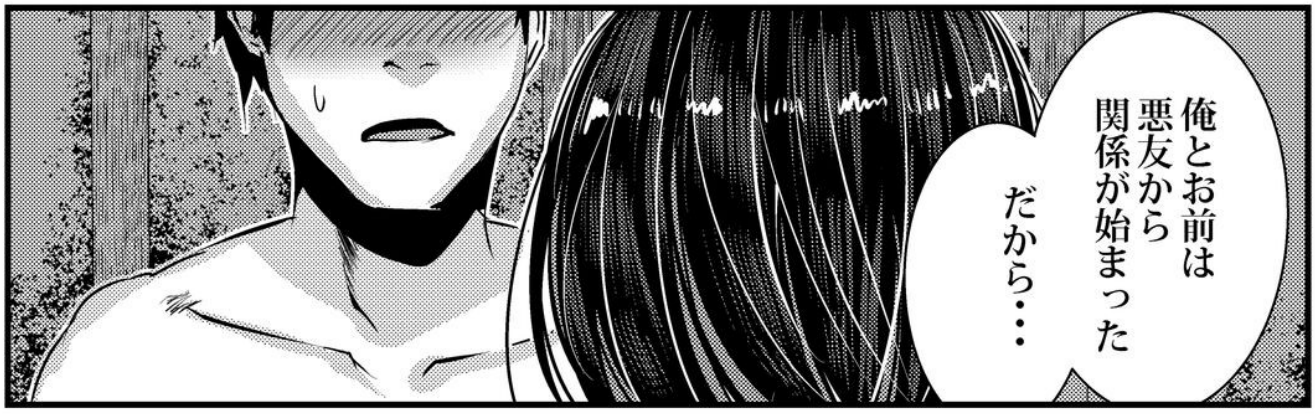

ちゅ♥
ピュ…ピュ…♥
ちゅ♥
ちゅ♥


朝になっちまったな
どうする？伝説のバット作りに行くか？


今日は
もういい
ていうか
興味が薄れた
…なあ


そういえば
俺がお前の事を
好きだって
言ったけど
返事とか
聞かせ
てくれないのか？


ちゅぱっ♡♡
はぁ


俺とお前は
悪友から
関係が始まった
だから・・・


あと
二三日くらい
悪友として
毎日
エッチして
「男女の友情」が
恋愛になるまで
イチャイチャ
したい・・・
答え：
あと二三日くらい
経ったら
恋人になれるらしい

あとがき

まずはこの本を手に取って頂き、誠にありがとうございます！

今回はかなり好きなように描かせて頂いて、ページ数も合計６０ｐ
程になりましたが、楽しんで頂けましたでしょうか・・・？

工夫した点は、主人公男の顔を極力描写しない事。
主人公視点でヒロインを描くこと。
展開によってヒロインの髪型が変わり、新鮮さを表現すること。

といった具合です。
如何でしょうか・・・？ちゃんと効果してますでしょうか・・・？

またこちらも、メイド物と同じように軽く続編でも描ければと思っています。
人気次第ですが・・・

それではまたどこかでお会いしましょう。

読んで頂いた全ての人に対して最大の感謝を。
ありがとうございました！

牡丹もちと

成人向け
18歳未満の方の閲覧、購入は禁止させて頂きます。

サークル名：からじしぼたん
発行者　　：牡丹もちと
発行日　　：2022年12月31日
連絡先　　：botamotito-karazisibotan@yahoo.co.jp
印刷所　　：有限会社ねこのしっぽ


狂気



サークルからじしぼたん

牡丹もちと